

ランピースキン病

Point

令和6年11月6日、福岡県内の乳用牛飼養農場で発生（国内初）

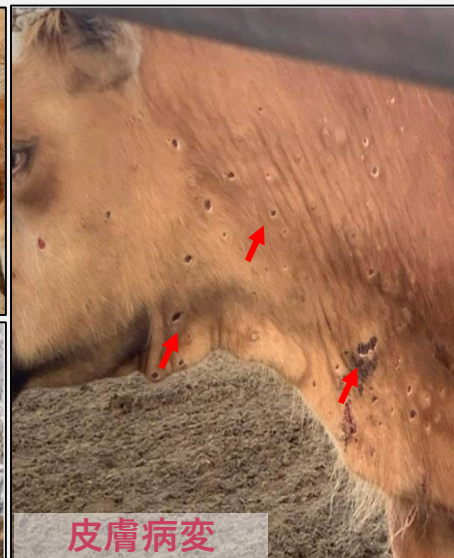
ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！



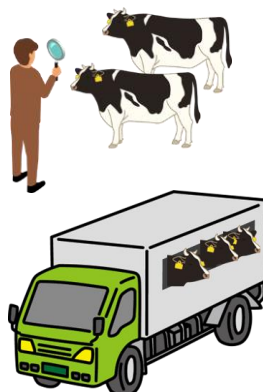
写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

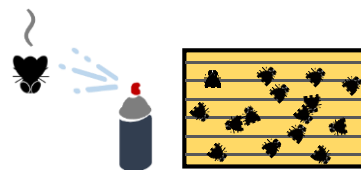
01 毎日の健康観察

早期発見・早期通報が重要。
疑わしい牛は隔離。牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。

道外から牛を導入する場合は、
家畜保健衛生所に連絡し、
着地検査等の指導を受ける。

02 吸血昆虫の
防除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。

03 器具の適切
な管理

他の畜産関係施設で使用した器具等は原則持ち込まない。
やむを得ず持ち込む場合は、洗浄・消毒を実施。